

「あいこ」は、勝ちも負けもない対等な関係を表す言葉です。「あいこ」は、この分かち合いの精神で、障がいのある人ない人にかかわらずお役に立つ情報を発信します。

i-feature

リーガン・リントン
あなたが輝く

9のコード

ビッグ・アイが注目する
人・もの・できごとなどを特集する「i-feature」。
今回は、どんな困難があっても、
好きなことをあきらめない—
演劇という夢を追い続ける
リーガン・リントンさんからのメッセージを、
みなさんにお届けします。

困難を通して気づくこと

人間には思いも寄らない素晴らしい能力が備わっています。しかし、私たちは多くの場合、行く手を阻む問題や困難を通してようやくそのことに気づきます。私の場合は、障がい者になるという経験をする中で、人生は大変であるけれども、同時に輝かしいものにもなりえるのだと学びました。

私は生まれながらにして障がいがあったわけではありません。健康で活発な少女時代をコロラド州デンバーで過ごしていました。あらゆるスポーツに夢中になり、演劇も大好きでした。高校時代は、ミュージカルやお芝居で主役に抜擢されたり、トップクラスのスクールクワイアー（聖歌隊）で歌ったりしていました。ですから、まさか自分が障がい者になり、自分の体をどうやって動かすのか、一から練習しなければならない日が来るとは思いもしませんでした。

(次頁へつづく)

Regan Linton / リーガン・リントン

2002年、南カリフォルニア大学在籍時に交通事故により脊髄を損傷。治療のために中退するも復学を果たし、2004年に同大学を卒業する。その後、クレイグ病院、ヨガ・フォー・ザ・ピープルなどに勤めるかたわら、デンバー大学でソーシャルワークを学ぶ。2010年より、カリフォルニア大学サンディエゴ校演劇・ダンス学科に在籍。俳優として、デンバーポスト紙「オベーション賞」(2009年)、コロラド・シアターギルド「ヘンリー賞」(2008年)を受賞。





突然のできごと

ロサンゼルスにある南カリフォルニア大学(USC)の3年生だった2002年3月、私は交通事故にあいました。この事故で脊髄を損傷し、胸から下は完全に麻痺してしまいました。

コロラド州エングルウッドにあるクレイグ病院*1でリハビリ治療を受けるために大学を中退しました。医師たちは私を強く励まし、「今までとはちょっと違うやり方にはなるけれど、やりたいことは何だってできるよ」と言ってくれました。けれども、私は深く傷ついていました。笑顔を見せてはいましたが、実際は混乱し、怒り、悲しんでいました。体の3分の2が動かず、何も感じない状態で「私の人生はこの先どうなるのだろう…」と思うと、怖かったのです。不幸な目にあうと多くの人はこう問うでしょう。「なぜ、私がこんな目にあわなければいけないの」と。私もそうでした。しかし、この問いに対する答えは見つかっていません…今のところは。

ターニングポイント

アメリカには素晴らしい非営利団体がいくつもありますが、そのうちの一つである「スイム・ウィズ・マイク」*2から奨学金をいただき、そのおかげで私は南カリフォルニア大学に復学することができました。これが受傷後の私の人生における、最初のターニングポイントでした。大学での勉強を修了することができたのです。成功するために何よりも大切なのは、教育であると思いますが、とくに障がいのある人たちにとっては、技術や知識を獲得し、将来仕事をする際に必要な社会性を身に付けるためにも、教育は非常に重要であると思います。

幸いなことに、アメリカには1990年に制定された「障がいのあるアメリカ

人法(ADA)*3があり、障がいのある人々への差別を禁止しています。また、障がい者に対する配慮を義務付けてもいます。しかし、これは差別が存在しないと、生活に支障がないという意味ではありません。他の国々の人々と同様に、障がいのあるアメリカ人は今もなお、様々な困難に直面しています。医療、経済、住居、交通機関、そして何よりも障がいのない人々からの無理解です。つまり、障がいのある人々は、そうでない人々よりもはるかに頑張らなければ、成功を手にすることはできないのです。

再び夢に向かって

しかし、努力は報われるということを私は経験しました。南カリフォルニア大学を卒業した後、いくつか短期の仕事に就きましたが、自分の教育を深める必要があると判断した私は、再び学生になり、デンバー大学でソーシャルワークの修士号取得を目指すことにしました。そこでは、子どもたちの指導をしたり、ヨガのインストラクターになったり、地域のさまざまな組織と働く機会を得ることができました。さらに、デンバーにある障がいのある演技者のための「ファミリー」という劇団で、再び演劇を始めました。私が車いすに乗って演技をすることで、私自身にも私以外の人たちにも変化が起きました。私は自信が持てるようになり、ついには障がいのある自分というアイデンティティに満足しさえするようになったのです。さらには、私の障がいはユニークで、なかなかのものだと思うようになりました。

私の演技者としての芸術性を高め、適応能力や創造性、演技力を向上させてくれたのですから。この経験のおかげで、私は俳優になるという大きな夢に向かって、大胆に踏み出す決心をすることができました。

私はオーディションを受け、カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)の、アメリカでもトップクラスの俳優養成プログラムに参加することを認められました。車いす利用者で、UCSDの

プログラムを経験したのは私が最初でしたが、これから後続く人たちのために道を開きたいと願っています。

なぜ、障がいがあるのか?

私はいま、アメリカで最高の舞台アーティストたちのいる学校で学んでおり、身のこなし、歌唱、発声、スピーチ、演技、ダンスなど様々な分野でプロになる訓練を受けています。決して簡単ではありません。身体的にも、感情的にも、精神的にも、かなりの粘り強さと忍耐を必要とします。けれども、可能性に賭けて一歩踏み出し、心を開いて学ぶなら、素晴らしいことを達成できるのです。障がいのあるアーティストたちが、人間とは何なのかということについて、これまでにない物語や斬新なアイデアを生み出していってくれることを、世界は必要としていると思います。

なぜ、私の身に障がいというような事態が起きたのか、今では少し良い考えが持てるようになりました。障がいがあったおかげで、私は立ち向かっていく何か、つまり邁進していく目標を見ることができたと思います。障がいがあったからこそ、私は演技をするという夢を追う気持ちになりましたし、何が可能であるかについて、人々が既成概念にとらわれずに考えるよう刺激する役目もつとめるようになりました。結局のところ、何でもやればできるのです。人生には大変な時もあるでしょう。その上、痛みがあったり、理解されなかったり、体の動きが制約されたりと、障がいがあれば、人生は一層厳しいものになりえます。しかし、私たちはみな、この地球で生きる目的を持っています。そうでなければ、私たちは生きてはいないでしょう。ですから、障がいがあるからといって、その目的に向かって生きることを思いとどまる必要はありません。

あと少しだけ私の考えをお伝えして、終わりにしましょう。(「9のコトバ」へ)



*1 Craig Hospital(クレイグ病院) <http://www.craighospital.org> *2 Swim With Mike(スイム・ウィズ・マイク) <http://www.swimwithmike.org>

*3 障がいのあるアメリカ人法(ADA) 1990年7月制定、2008年9月改正。あらゆる分野での障がい者への差別を禁じ、機会平等を保障している。改正法では障がいの有無にかかわらず、障がいがあるとの認識に基づく差別をも禁止している反面、障がいによって著しい生活上の制限・制約を受けている者のみに合理的配慮が必要と規定している。



リーガン・リントン
あなたが輝く

9のコトバ



1 Do what you love, and what inspires you.
好きなことを、あなたが元気になれることをやりましょう。

2 If people say you can't, then show them you can.
あなたにはできないと誰かが言うなら、
できるところを見せてやりましょう。

3 If it hasn't ever been done, then be the first to do it.
もしそれが誰もやったことのないものであるなら、
あなたが最初にそれをやりましょう。

4 Never stop learning.
学び続けましょう。

5 Always treat other people - and yourself -
with compassion and respect.

人に対するときはずっと
(自分に対してもですが)
思いやりと尊敬の念を抱きましょう。



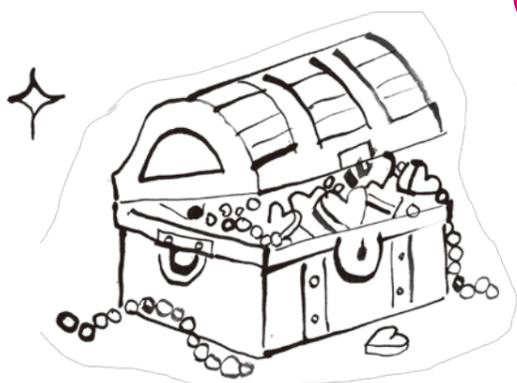
6 Don't allow anyone else to tell you
what you should think about yourself - determine
for yourself who and how you want to be.

あなた自身について
自分で考えなければならないことを、
人に教えてもらわないようにしましょう。
どんな人間になりたいのか、
どのようになりたいのか、自分で決めましょう。

7 Seek out resources - people, programs, etc.-
that will support you in your goals,
even if they are on the other side of the world!

人でも、プログラムでも、あなたが目標を達成するために
サポートしてくれる手段を探し出しましょう。
それがたとえ地球の反対側にあったとしても!

8 See disability as a unique and beautiful asset.
障がいユニークですばらしい宝物として見てください。



9 "Never, never, never give up."
「何が何でもあきらめないで」

10 「10番目の「コトバ」は、あなた自身で探してみてください。」

Never,
never, never
give up.



Communication!

リーガンさんに
メッセージを届けよう!

この記事に関するみなさんのご意見・ご感想を、ビッグ・アイからリーガンさんにお届けします。

この機会にリーガンさんに聞いてみたいことなどがあれば、下記までお送りください。

あなたが輝く10番目の「コトバ」もぜひお寄せください。現在、リーガンさんをお招きしたイベントの企画を計画中です。
続報は、ビッグ・アイホームページ等でお伝えします。

《メッセージ受付期間》 2013年6月30日(日)まで

《メッセージ受付》 ビッグ・アイ「i-co」係 〒590-0115 大阪府堺市茶山台1-8-1 FAX072-290-0972 Eメール i-co@big-i.jp

Pick Up Event

ビッグ・アイ アートプロジェクト 海外作品展

Resonance from Outside Japan 2012

6/23日-30日 **入場無料**

10:00~17:00(最終日は16:00まで)

場所:ビッグ・アイ バリアフリープラザ

ビッグ・アイアートプロジェクト 作品募集 2012において、日本国外から応募されたアート作品を紹介するミニ展示会を開催します。スリランカやオーストラリアから届けられた作品をぜひご覧ください。



問合せ 「アートプロジェクト」係
TEL072-290-0962 FAX072-290-0972
Eメール museum@big-i.jp

募集!

ビッグ・アイアートプロジェクト 作品募集2013

ビッグ・アイでは、今年度も障がいのある方によるアート作品の公募を行います。国内作品の「実物審査」はそのまに、国外からの応募に「写真審査」を設けるなど、国外からも応募していただきやすくなりました。

募集期間 国内:2013年9月1日(日)~9月27日(金) / 国外:2013年7月1日(月)~8月15日(木)
詳しくは、ホームページをご確認ください。 <http://big-i.jp/> **ビッグ・アイ** **検索**

Campaign

シニア宿泊キャンペーン

Rediscover Osaka!



介助が必要だから...
足腰が弱いから...

そんな理由で、旅行や外出をあきらめたりはしていませんか? ビッグ・アイは、ユニバーサルデザインに基づき設計された、すべての人にやさしい施設です。障がい者だけでなく、ご高齢の方、介助者にとっても安心の宿泊室を備えています。ビッグ・アイを拠点に、歴史と文化のまち「堺」や、笑いと食のまち「大阪」におでかけしてみませんか?

問合せ ビッグ・アイ フロント
TEL072-290-0900 FAX072-290-0920
Eメール front@big-i.jp



車いすでも動きやすいゆったりとした宿泊室に、介助しやすいお風呂。入浴介助プランもご紹介します。

■宿泊料金(1泊 朝食付)

65歳以上の方
6,000円/人 → **4,800円/人**

※ご同伴の方2名様まで、上記の料金でご宿泊いただけます。

■実施期間

2013年 **6/1日** - **7/31日**

大阪のええとこいっぱい!
バリアフリーおでかけコースガイド
「バリアでか」プレゼント!



Present!

プレゼントクイズ

5名様

Q 障がい者への差別を禁止する「障がいのあるアメリカ人法」略して?

(ヒント:アルファベット3文字)



ビッグ・アイアートプロジェクト入選作品集「BiG-i Art Collection 2012」を抽選でプレゼントします!!

■応募方法

クイズの答えと下記の必要事項をご記入の上、ハガキ、ファックス、Eメールのいずれかでご応募ください。

①氏名(ふりがな)②郵便番号③住所④電話番号

⑤本紙へのご感想やご希望、ご質問など

正解者の中から抽選で5名様に景品を発送させていただきます。

※読者のみなさまからいただいたご意見を「i-co」紙面でご紹介する場合があります。予めご了承ください。

■応募締切

2013年6月30日(日)消印有効

■応募先

〒590-0115
大阪府堺市南区茶山台1-8-1
ビッグ・アイ「i-coプレゼント」係
FAX 072-290-0972
Eメール i-co@big-i.jp

ご応募の際にお預かりする個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、本紙の運営・実施の目的以外には使用いたしません。



編集・発行 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)広報
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972

発行日 2013年5月31日

EVENT CALENDAR

6 June

情報保障等のアイコン表示



21日[金] 14:00~18:00

愛カフェ「気づきや問題解決を促す
ファシリテーションを学んでみよう!」

▶講師:中田豊一(市民活動センター神戸 理事長)
▶場所:研修室▶料金:ドリンク代 500円▶要申込▶定員:40名
▶問合せ 愛カフェ係 072-290-0962

23日[日] ~ 30日[日] 10:00~17:00

ビッグ・アイアートプロジェクト 海外作品展

▶場所:バリアフリープラザ▶料金:無料▶申込不要
▶問合せ アートプロジェクト係 072-290-0962

7 July

14日[日] 14:30~15:45

原爆手話朗読劇「目で聴いた、あの夏」

出演:サインアートプロジェクト.アジア
▶場所:研修室▶無料▶要申込▶定員:80名
▶問合せ 原爆手話朗読劇係 072-290-0962

15日[月・祝] 13:00~17:00

国際セミナー「地域ぐるみの福祉先進地域に学ぶCBR」
~福祉資源が不足する時代へのヒント?~

講師:ナズムル・バリ(バンラデシユNGO・CDD)ほか
▶場所:研修室▶無料▶要申込▶定員:100名
▶問合せ セミナー係 072-290-0962

※手話通訳・点字プログラム・要約筆記・音声補聴は申込が必要です。



8 August

10日[土] 14:00~17:00

愛カフェ「自分の助けかた、人の支えかた」
~ぶっちゃけトークで探る!『生きづらさ』とつきあう方法~

講師:梅田純平(大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター)ほか
▶場所:研修室▶料金:ドリンク代 500円▶要申込▶定員:40名
▶問合せ 愛カフェ係 072-290-0962

10日[土] 13:00~11日[日] 15:00

ビッグ・アイアートキャンプ
「マリスでつなごう 世界をひとつに」

講師:高橋りく(現代美術アーティスト・Maris ART Project代表)
▶場所:バリアフリープラザ
▶料金:宿泊・食事(3食)費7,000円▶要申込
▶定員:20名
▶問合せ アートキャンプ係 072-290-0962



10日[土]~18日[日] 10:00~17:00

高橋りく マリス 個展 in BiG-i

▶場所:バリアフリープラザ
▶無料▶申込不要
▶問合せ アートプロジェクト係 072-290-0962



不思議の国のアリス

18日[日] 13:00~16:00

ビッグ・アイピアノコンサート

出演:梯剛之・岩崎花奈絵・磯村靖幸ほか
▶場所:多目的ホール▶無料▶要申込▶定員:1,200名
▶問合せ ピアノコンサート係 072-290-0962

各事業の情報保障の詳細についてはお問い合わせいただくか、ビッグ・アイ ホームページにてご確認ください。